

## 【分析概要】

### ■ 目的

備後圏域都市計画マスタープランにおいて目指す将来都市構造として、福山市中心部を中核拠点、三原市・尾道市・府中市中心部を広域拠点などに位置付けている。  
 将来都市構造の実現に向け、現状の拡散型都市構造を踏まえ、集約型都市構造へ転換していく必要があるため、携帯電話の位置情報から把握される“滞在人口”により定量的に評価し、都市計画の方針の検討などに必要な基礎的資料としてまとめる。

### ■ 分析方法

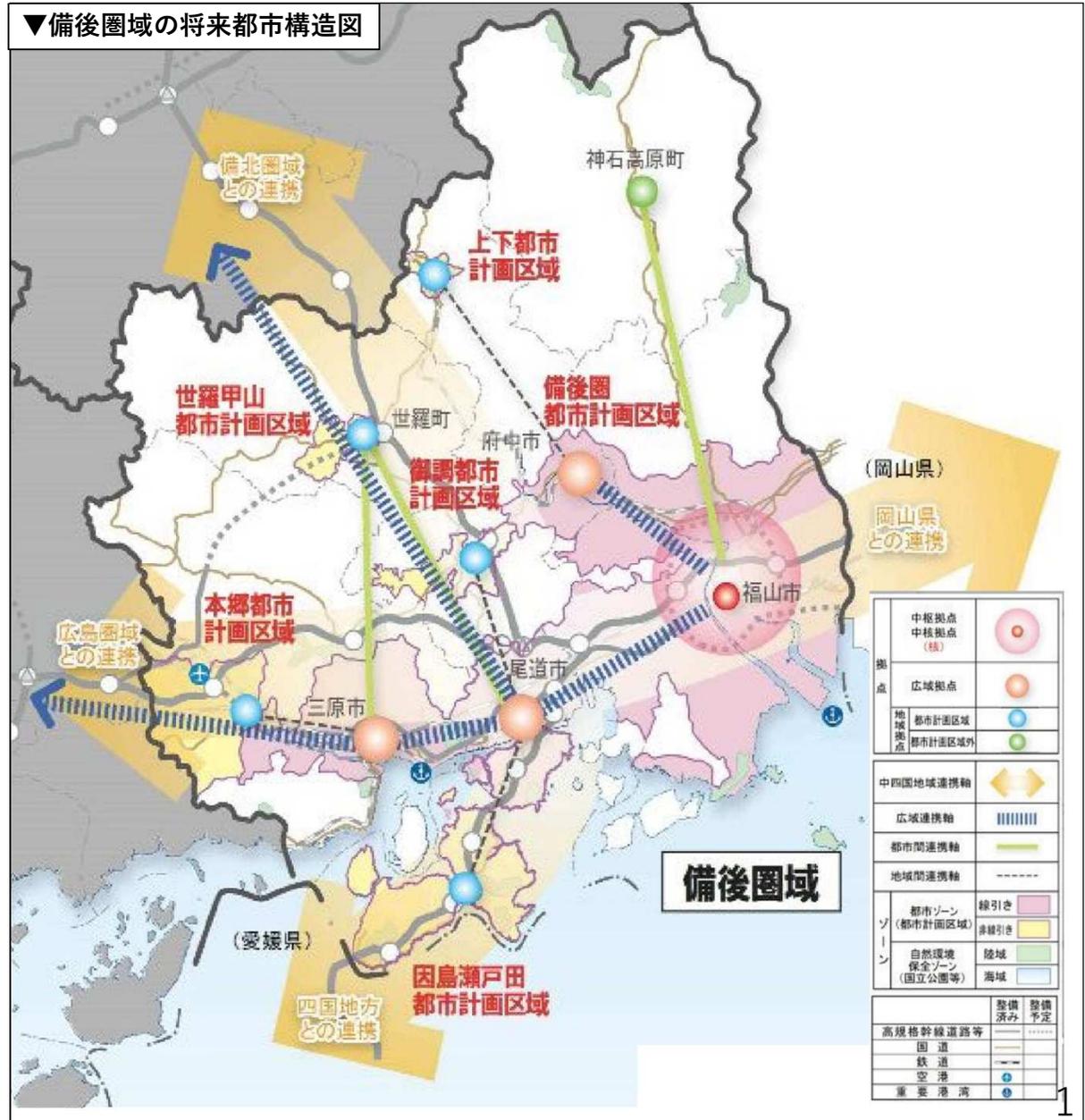
- ・ 滞在人口の把握  
 モバイル空間統計※により特定の時間に集まる滞在人口を地図上に塗り分けるヒートマップで表示し、滞在人口の特性等を把握した。
- ・ 滞在人口の将来推計  
 現状の滞在人口に、その居住地別の国立社会保障・人口問題研究所における地域別将来人口推計の増減率を乗じて行った。
- ・ 調査時期  
 新型コロナウイルス感染症の影響のない2019年10月の平日の平均値、休日の平均値を用いて都市の現状を分析した。
- ・ 調査内容  
 地図上の滞在人口の表示や将来推計、各拠点における滞在人口の特性から、備後圏域全体の都市構造、各都市の拠点性、中核都市の都市間比較などの分析を実施した。  
 ※携帯電話の所在を、周期的に把握する仕組みから作成される人口の統計情報

### ■ 中核都市（姫路市）との比較

福山市と姫路市は、連携中枢都市圏の中心で、県庁所在地や政令指定都市から独立した都市計画区域の中心、新幹線のぞみが停車し、人口や市街化区域面積等が類似しているため比較対象とした。

都市の比較		福山市	姫路市
都市圏	都市圏名称	備後圏域	播磨圏域
	連携中枢都市	福山市 (5市2町)	姫路市 (7市8町)
	人口	約83万人	約130万人
	面積	約2,510km <sup>2</sup>	約2,790km <sup>2</sup>
中核都市	人口	約46万人	約53万人
	市街化区域面積	約97km <sup>2</sup>	約111km <sup>2</sup>
主要駅	駅名	福山駅	姫路駅
	路線数	3路線	5路線
		新幹線、在来線	新幹線、在来線、私鉄

### ▼備後圏域の将来都市構造図



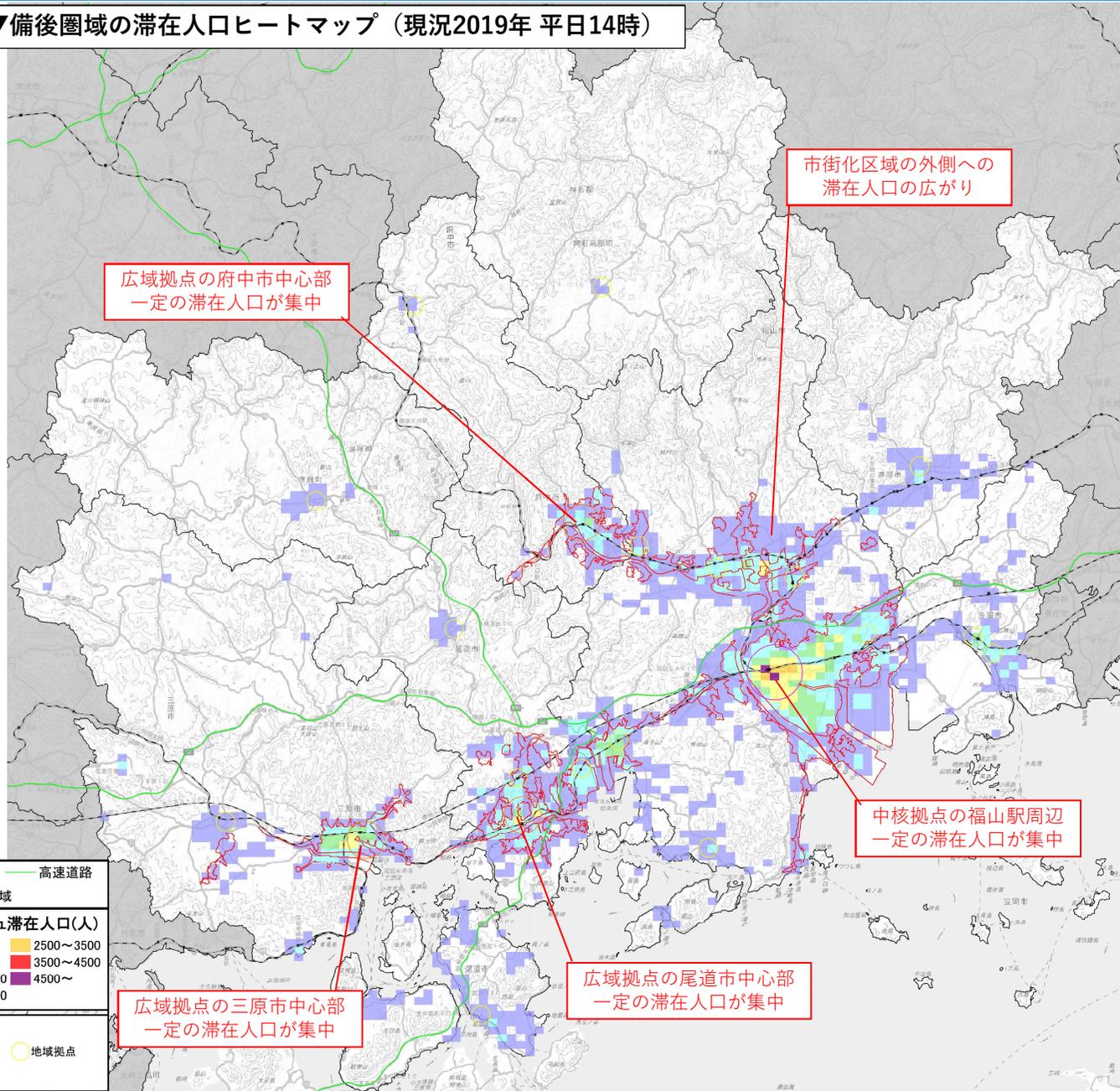
# 人流データによる備後圏域の都市構造 分析報告書 概要版 (令和4年3月)

地図出典：地理院地図  
 データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング2019年10月平均)、  
 将来値は広島県で独自推計

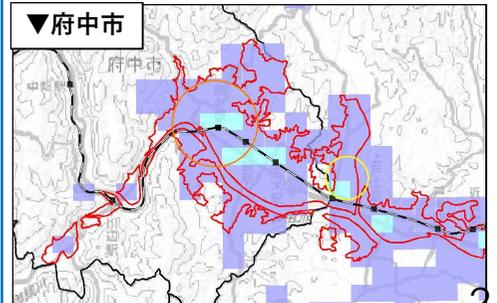
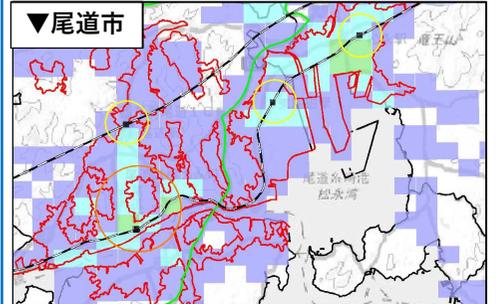
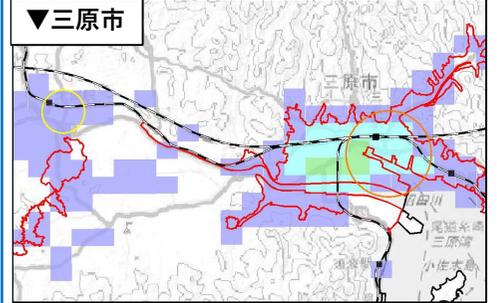
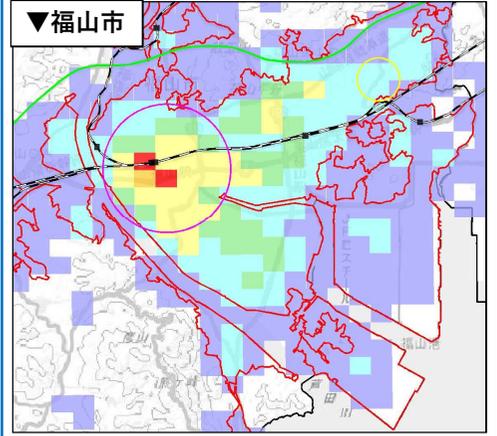
## ○ 備後圏域の滞在人口 ～現況と将来推計値をヒートマップで表示～

- ・市街化区域の外側に滞在人口の広がりが確認できることから市街化調整区域内の土地利用が進んでいると考えられる。
- ・中核拠点の福山駅周辺、広域拠点の三原市・尾道市・府中市の中心部については、一定の滞在人口が集中しており拠点性が確認できるが、その周辺にも滞在人口が広く分布しており、拠点との差が小さいことがわかる。
- ・以上ことから市街化調整区域の土地利用抑制と中核拠点や広域拠点への都市機能の誘導などによる、さらなる拠点性の向上が求められる。

### ▼ 備後圏域の滞在人口ヒートマップ (現況2019年 平日14時)



### ▼ 滞在人口ヒートマップ (将来2050年平日14時)

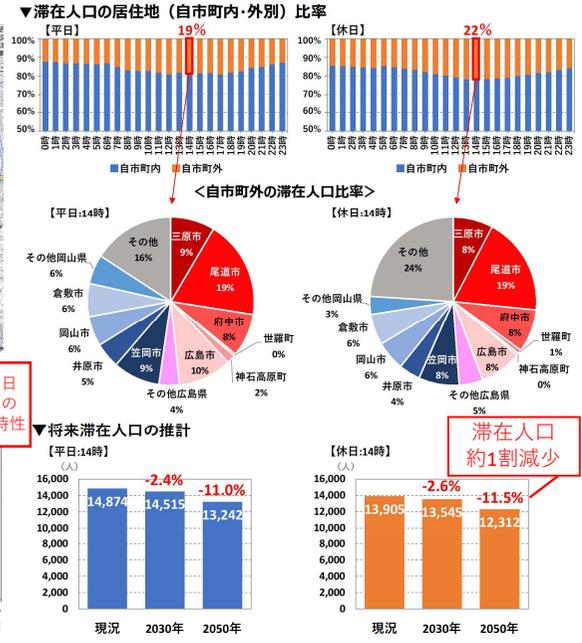
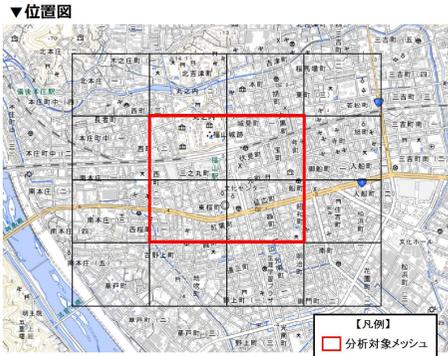


■ 鉄道・駅	— 高速道路
■ 市街化区域	
500mメッシュ滞在人口(人)	
■ 100～500	■ 2500～3500
■ 500～1000	■ 3500～4500
■ 1000～1500	■ 4500～
■ 1500～2500	
拠点	
○ 中核拠点	○ 地域拠点
○ 広域拠点	

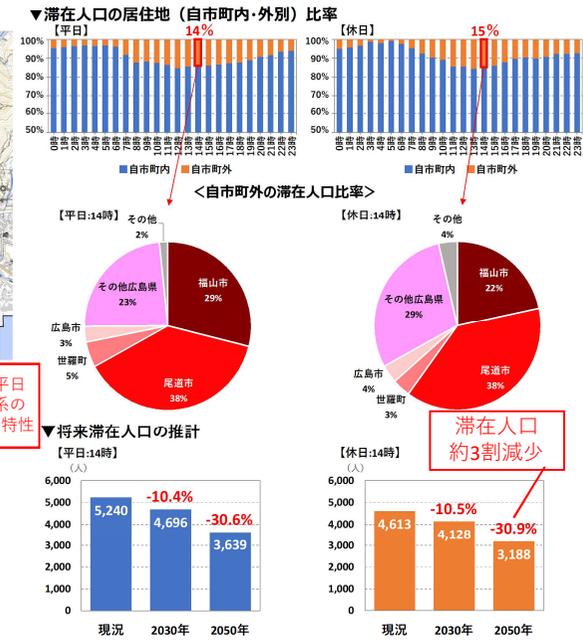
# ○ 備後圏域内の都市の拠点における滞在人口分析（4都市抜粋） ～拠点内で滞在人口が最大となる4メッシュ（1km四方）に着目し、滞在人口を分析～

- ・各拠点における滞在人口の居住地や今後の人口減少の推計など拠点の規模や特性に応じた、さらなる拠点性向上が求められる。
- ・各拠点の駅周辺では、休日より平日の昼間の滞在人口が多い事務所系の土地利用の特性が多く、賑わいにつながるような都市機能を集積する必要がある。

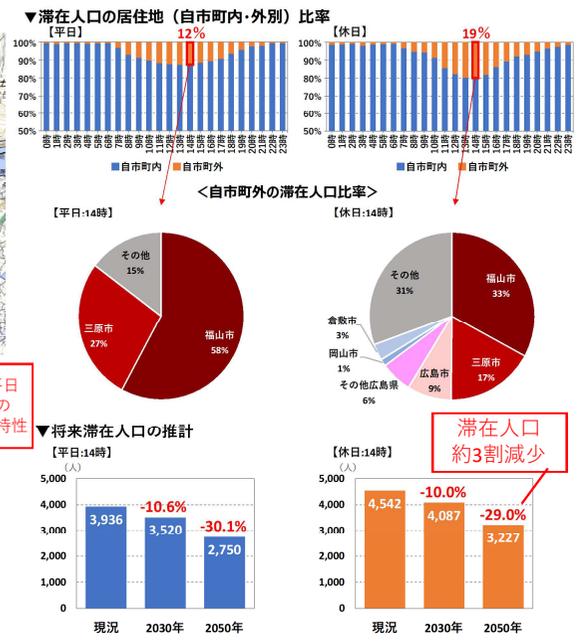
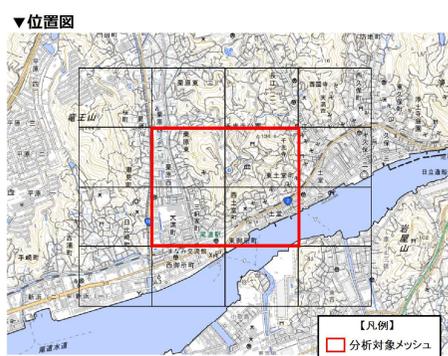
## ➤ 福山市



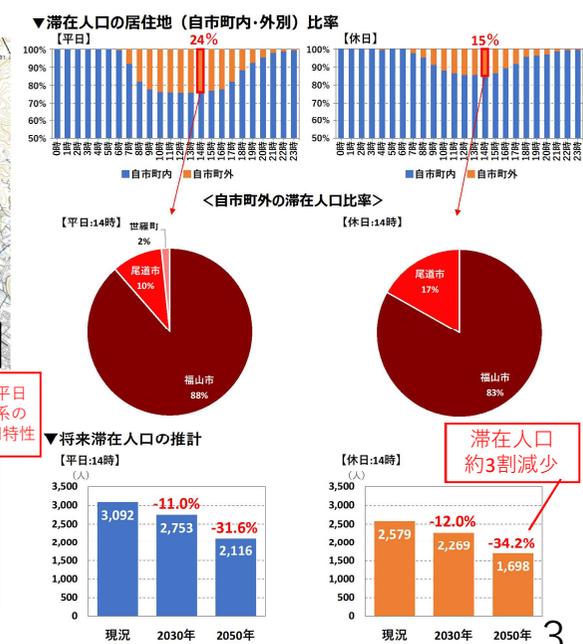
## ➤ 三原市



## ➤ 尾道市



## ➤ 府中市

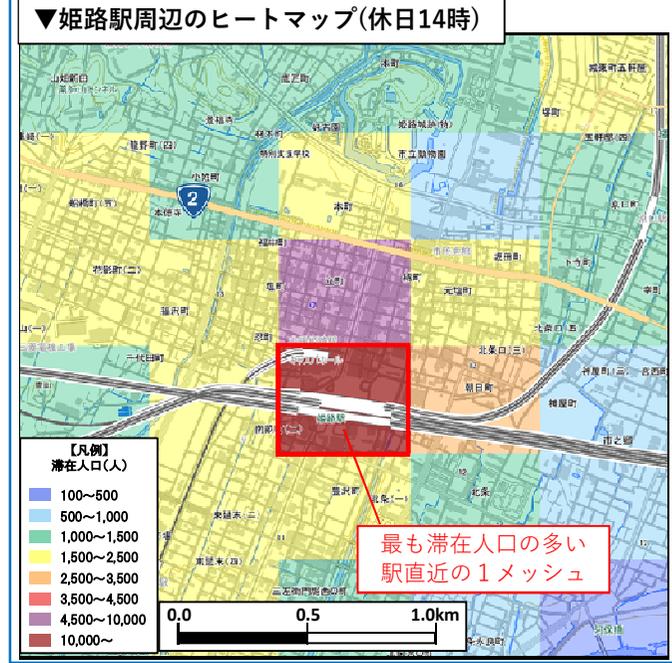
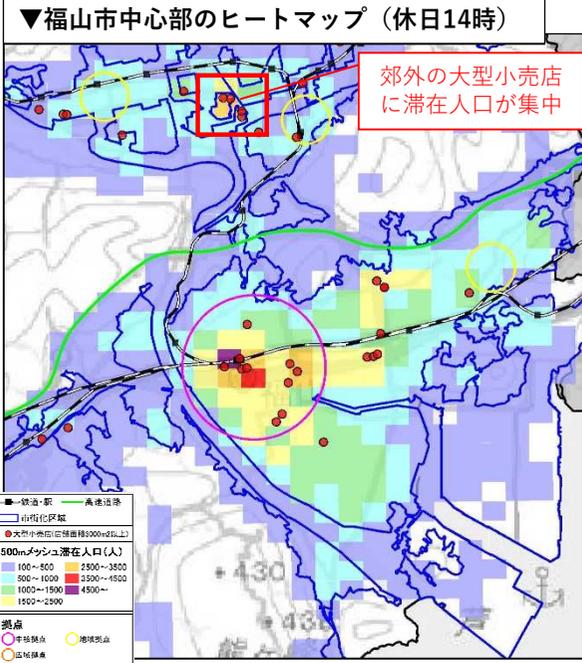
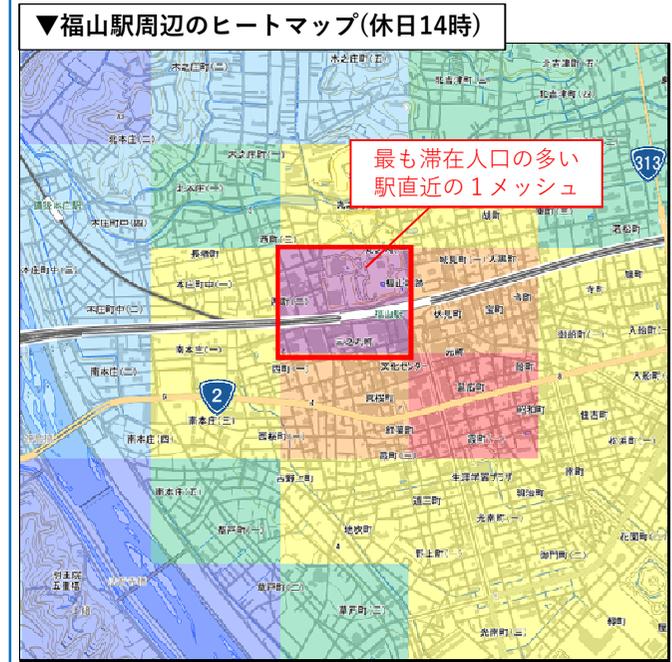
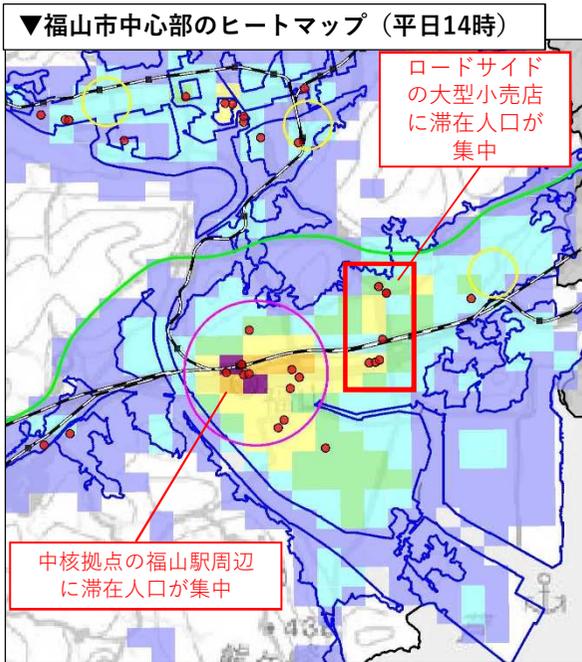


# 人流データによる備後圏域の都市構造 分析報告書 概要版 (令和4年3月)

地図出典：地理院地図  
データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング2019年10月平均）、  
将来値は広島県で独自推計

## ○備後圏中核都市の福山市中心部の分析及び姫路市との比較 ～拠点とその周辺の現況や特徴のある年代などを分析～

- ・福山市中心部のヒートマップより、中核拠点の福山駅周辺は一定の滞在人口が確認できるが、郊外やロードサイドの大型小売店にも滞在人口の集中があり**拠点の広がり**が確認できる。
- ・福山市は姫路市と比較すると、駅周辺の休日昼間の滞在人口が約9千人少なく、最も滞在人口の多い駅の直近(1メッシュ)では、**特に20代女性の滞在人口が少ない**という特性がある。
- ・以上のことから福山駅周辺は、若者や多様な人が集まる備後圏域の中核拠点にふさわしい都市機能の誘導やにぎわい創出など、さらなる拠点性の向上が求められる。



### ▼福山市と姫路市の滞在人口比較 (4メッシュ)

		福山市		姫路市	
比較位置図					
		福山市人口: 468,956人		姫路市人口: 535,982人	
昼間※の滞在人口 (最大時) ※7時~18時	人口比率 (滞在人口/各市居住人口)	平日	約 15,300人 (12時台) 3.3%	休日	約 14,100人 (14時台) 3.0%
		平日	約 22,400人 (12時台) 4.2%	休日	約 23,000人 (14時台) 4.3%
昼間の市外居住者の割合	平日	約 19%		約 34%	
	休日	約 22%		約 36%	

